

日本アカデミック・アドバイジング協会 研究部会

協働的課題志向型リサーチ

Collaborative Problem-Oriented Research
(CoPOR;コポル)

1期生メンバー募集

アカデミック・アドバイジングに関するテーマについて
研究部会メンバーと一緒に学び合い・相互研鑽しませんか？
「やってみたいけど、でも…」なあなたをお待ちしています！

01

初心者歓迎！少人数ゼミ形式で
研究活動に取り組みます

02

調査・分析・アウトプットまで
研究の一連の流れを実践！

03

全回オンライン（Zoom）開催
ワークショップ形式で実施



活動期間

2025年 3 月
～2026年 3 月

申込締切

2/17 月

■ 必ず応募要件をご確認の上、お申し込みください

Scan or Click!



2つのテーマから選べます

テーマ1

アカデミック・アドバイザーの実践知を探究する： 質的研究入門

担当：山田剛史（関西大学）・木原宏子（関西大学）

このゼミでは、大学におけるアカデミック・アドバイザーの役割や実践的な知見を深く理解し、その心構えや専門性を明らかにすることを目的とします。アドバイザーの心構え、課題、成功事例、専門性といったテーマを、質的研究の手法を活用して明らかにするとともに、質的研究法や質的データ分析の基本的な考え方と手法について実践を通じて学びます。さらに、みなさんが日常的に行っているアドバイジングの活動をより多角的に考察し、研究へとつなげていく力を養います。

■ 到達目標

1. アカデミック・アドバイザーの役割と実践への理解（知識）：アカデミック・アドバイザーの心構えや日常的な取り組みについて具体的な事例を通じて理解する
2. 質的研究の基礎スキルの習得（技能）：インタビュー調査の実施とデータ整理を通じて、質的研究の基本的な手法を学ぶ
3. 学生支援の実践を多角的に考察する姿勢の獲得（態度）：アカデミック・アドバイザーの活動をさまざまな視点から考え、学生支援の現場に対する理解を深める

■ 実施計画（各回2時間程度・Zoom・ワークショップ形式）

- 第1回（3月中旬）：CoPORゼミ合同オリエンテーション、キックオフ
第2回（4月下旬）：質的研究法の基本、リサーチクエストの策定
第3回（5月）：インタビュー調査対象者の選定、調査項目策定、役割分担
第4回（6月）：インタビュー調査の進捗報告、発表・論文化などの検討
第5回（7月）：分析会、資料作成 ※日程は参加メンバーで調整

■ 事前・事後に求められること

- インタビュー調査は2人一組で分担を決め、ゼミ外の時間で実施します
- 調査・分析の進捗により、個別に分析会等を開催する可能性があります

■ 参加条件・前提知識

- アカデミック・アドバイジングの営みに関心のある方
- 基本的なPCスキルをお持ちの方
- 他者と分担、協働しながら研究を進めていくプロセスを楽しめる方

■ 備考

- 使用教材・参考文献は特にありません
- 平日夜間の実施を想定しています

山田 剛史（やまだ つよし）

関西大学教育推進部 副部長・教授



- 専門分野：青年心理学（博士(学術)）、高等教育開発
- 研究テーマ：“誰もが自分らしく健やかに生きられる社会”を実現するための学校・教育・学び
- 趣味：ディズニー全般、うちのワンコ、アニメ、Youtube漁り、何でも楽しむこと

みんなと一緒に知的に楽しみながら学び・成長したい！そんな想いでCoPOR（コポル）を立ち上げました。いわゆる「大人のゼミ」です。テーマ1では、アカデミック・アドバイザー個人に焦点をあて、その生態を探究する中で、質的研究法への理解・スキルを深めていきたいと考えています。そして、アウトプットにつなげて、楽しさや興奮をともに味わいたいです。「研究」と難しく考えず、興味はあるけど自信のないそのあなた！ぜひトライしてみませんか！？

木原 宏子（きはら ひろこ）

関西大学教学IR室 教学IRアドバイザー



- 専門分野：学習支援論、高等教育学、教科教育学（国語）
- 研究テーマ：大学における学習支援、学習支援者養成
- 趣味：コンサート、ライブ、舞台、映画などエンタメを体感すること

アカデミック・アドバイザーってどんな人たちなのでしょう。書籍や論文に書かれている情報や、全国調査などの量的データでわかることだけでなく、実際にアドバイザーをしている方々の実践知を生々の声で聞いてみたい。そんな思いで企画しました。アカデミック・アドバイジングについて、私もまだまだ勉強中です。日々実践しているけど研究にする方法がわからない、やってみたくてあと一歩踏み出す勇気が欲しい方、私たちと一緒に研究してみませんか。皆さんと共に学び、調べ、話し、考え、発信して、充実したわくわくする時間を過ごせたらうれしいです！

Student Successの取り組み事例： 調査と執筆の実践

担当：嶋田みのり（東北学院大学）・宝来華代子（崇城大学）

「Student Success」ってなんだろう？海外ではどんな取り組みがなされているのだろうか？そんな疑問から、本ゼミでは、海外の大学に設置されているStudent Success Centerの取り組み事例を調査し、JAAAのメンバーに共有することを目指します。具体的には、研究メンバーで分担して、文献や海外の大学HPから情報を収集したり、所属大学での取組について事例分析を行い、共通点や相違点を考え、取り組みの留意点などを検討します。最終的には、会員に向けた情報提供や、論文投稿を目指します。

■ 到達目標

1. 調査や分析活動を通じて、Student Successに関連する知識を広げ、自身の教育現場や研究に活かせる視点を獲得
2. チーム内での議論や発表を通じて、新たなアイデアや知見を共有し、論文投稿や教育現場での応用を目指す

■ 実施計画（各回2時間程度・Zoom・ワークショップ形式）

- 第1回（3月中旬）：CoPORゼミ合同オリエンテーション、キックオフ
 第2回（5月）勉強会の進め方、調査の分担について
 第3回（8月）各自調査した事例の共有
 第4回（8月）分析、論文化への検討
 第5回（10月～）論文投稿に向けて

※日程は参加メンバーで調整

■ 事前・事後に求められること

- 第2回（5月）に分担を決めて情報収集を行います

■ 参加条件・前提知識

- Student Successに興味・関心を持っている方
- 外国語ができなくても、生成AIのツール等を使って情報収集できる方
- 発表や研究の経験が無くても大丈夫です

■ 備考

- 使用教材・参考文献は特にありません
- 平日日中の実施を想定しています

嶋田みのり（しまだみのり）

東北学院大学ラーニング・コモンズ 特任助教



- 専門分野：高等教育、日本語教育
- 研究テーマ：学習支援、ライティング教育など
- 趣味：家庭菜園で野菜を作ること

みなさんと楽しく研究できると嬉しいです。本ゼミでは、海外の大学の事例をメンバーと分担して調査できればと思っています。自大学の実践に向けて、何かアイデアが欲しい、海外の取り組みについて知りたいという方、一緒に調べてみませんか？英語ができなくても今は、便利なツールがたくさんあるので大丈夫です！（私も苦手です汗）。

宝来華代子（ほうらいかよこ）

崇城大学総合教育センターSILC(Sojo International Learning Center) 教授



- 専門分野：英語教育、第二言語習得
- 研究テーマ：自律学修、自己管理学習、モチベーション、SALC (Self-Access Learning Center)
- 趣味：ガーデニング、野菜作り、温泉、ハイキング、キャンプ

語学教育に特化した学習支援の実践や研究を行ってきましたが、学習者の自律は様々な学びへ応用できると思います。皆さんの現場でどのような学習支援の手法で取組まれているか、どんな効果があるか情報交換し、そこから何かイノベーションが起こると嬉しいなと思っております。まずは和気あいあいと話せる環境で一緒に研究に向けて活動していきましょう。

■ 応募要件

- 各テーマ(ゼミ)5名程度 ※応募者多数の場合は選考有
- 情報が欲しいというだけでなく、「研究*」という営みに関わる意欲のある方
- 年会費（2024年度分）を納入済みであること

* ここでいう研究とは、普遍一般解を志向する学術的なものだけでなく、実践上の課題解決のために行われる試行的・探索的なものを含みます。また、専門書・論文を読むことやデータ分析を行うことだけでなく、他大学のHP等にある情報を集めたり、インタビューを行ったりと様々な活動を含みます。その上で、それらの活動の過程や結果を個人の中に関じた勉強で終わらせず、他の方へ発信するという公共的な営みを指します。